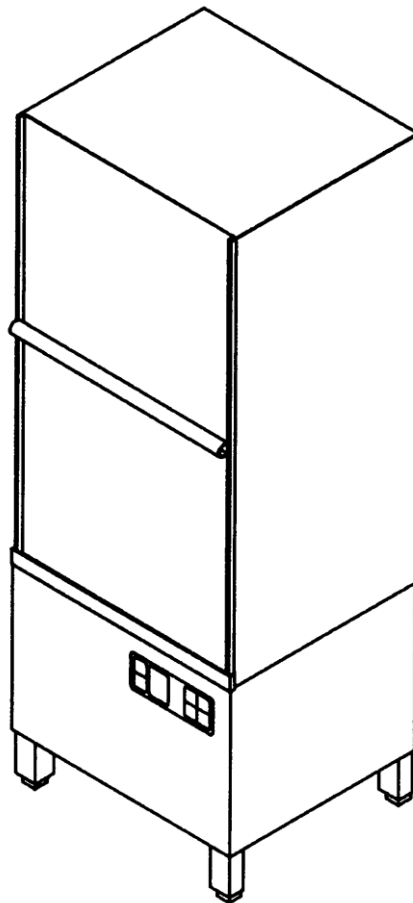


取扱説明書

GS 640／GS650／GS660
(Energy シリーズ)



ウィンターハルター社製業務用洗浄機をお使いになる前に

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

- 次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告

この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。



警告

- 据付工事は専門業者に依頼すること

お客様ご自身で据付工事をされ、不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

- アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないで下さい。アース線が不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者による第3種接地工事が必要です。)

- 電源は専用電源を使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、及びタコ足配線をした場合は、感電や発熱、火災の原因になります。

- 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引張ったり、束ねたり、また、重いものを乗せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

- 漏電遮断器が『 OFF (切) 』に作動した場合には、最寄りの販売会社に連絡すること

無理にレバーを『 ON (入) 』にすると、感電や火災の原因になります。

- 移設は専門業者か、最寄りの販売会社に相談すること

据付に不備があると水漏れ、感電や発熱、火災の原因になります。

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、改造、修理をしないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。洗剤・リンスの供給装置を取り付けるときは、必ずウィンターハルターの技術員にご相談ください。

- 改造は絶対に行わないこと

改造工事をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

- ガス給湯器を使用する場合は、給湯器の取扱説明書をよくお読みになり、その方式と能力に応じた法規に従って、吸気・排気・換気フード工事などを行うこと

この工事をしない場合には、酸素欠乏および有毒ガスの発生により、人体に影響を与える恐れがあります。

- ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、換気すること

電源プラグを抜いたりしますと、引火爆発し、危険です。



警告

- **運転終了時は、必ず電源スイッチを『OFF（切）』にし、給水バルブを 閉めること**
電気、水道を止めておかないと、万一洗浄機が故障した場合に火災や水漏れの原因になります。
- **製品に直接水をかけないこと**
ショート、感電、錆、故障の原因になります。
- **屋外で使用しないこと**
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。
- **濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと**
感電の原因になります。
- **運転中はドアを開けないこと**
停止後、すぐにドアを開けないでください。お湯が飛散し、やけどをする原因になります。
- **洗浄直後のラックや食器は熱いので、取扱いに注意すること**
やけどをする原因になります。
- **洗浄機内部の掃除は排水後、行うこと**
- **ドアを開閉するときは、タンクの縁に手を置かないこと**
手をはさみ、ケガをする原因になります。
- **洗剤は強アルカリ性ですので、取扱う時はゴム手袋・眼鏡を着用すること**
肌荒れや、目に入った場合は視力障害の原因になります。
- **洗浄機を一時的に使用中止して保管する場合は、ドアが開かないようにすること**
幼児などがドアで手をはさんだりする原因になります。
- **廃棄されるときは、専門の業者か最寄りの販売会社に依頼すること**
そのまま放置しますと、幼児などがあそんでケガをする原因になります。



注 意

- 床面が丈夫で平らな所に水平になるように据付けること

据付に不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

- 水がこぼれても支障のない場所に据付けること

ラックの出し入れ時に、水滴の落ちる場合があります。

- 漏電遮断器は月に 1 回動作確認すること

漏電遮断器を故障したまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因となることがあります。

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

- 掃除をする時や点検の時は、必ず電源スイッチを『 OFF（切） 』にすること

思わぬ所に水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。

- 本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

- 食器洗浄以外の目的には使わないこと

タンク内の水が汚れると、故障の原因になったり、衛生面で問題が発生します。

- 断水の際は、電源スイッチを『 OFF（切） 』にし、給水バルブを閉めること

開けておくと、通水時に「赤水」が出て不衛生の原因になることがあります。

- 熱に弱いものは、洗浄機の近くに置かないこと

変色や変質する恐れがあります。

- 必ず食器洗浄機専用の洗剤を使用すること

台所用中性洗剤などを使うと、故障の原因になることがあります。

- 洗剤やリンス剤の移し替えは、こぼさないように行うこと

こぼれた洗剤やリンス剤は十分に拭き取って下さい。そのままにしておくと床が滑りやすくなり、ケガをする恐れがあります。



注 意

- **いつも適切な温度で運転を行うこと**

洗浄温度が低いと、汚れ落ちが悪くなります。又すすぎ温度が低いと食器に洗剤が残ったり、除菌効果が低下し衛生上良くありません。

- **洗浄機に適さない食器は洗わないこと**

クリスタル・ガラス、及び、耐熱（90 以上）でない食器、漆器、アルミ食器銀食器、金装飾の食器などを洗うと、変形・変色・異臭または、傷がつくことがあります。洗浄をする前に、洗浄機での使用に問題がないか、各メーカーにお問い合わせください。

- **ラックを押し込む時や、ドアを閉める時に、食器が洗浄機にあたるようであれば食器を置き直し、再度ラックを入れ直すこと**

食器破損の原因になることがあります。

- **ガラス食器は洗浄後、温度が高い時は食器どうしを接触させないこと**

傷がつく原因になることがあります。

- **氷を入れるなどして冷やしたガラス食器は、一度ぬるま湯に浸してから洗うこと**

急激な温度変化で割れる恐れがあります。

ドイツ(ヨーロッパ)で使われているマークについて

CE マーク

1995 年 1 月 1 日以降、EU の機械基準に適していない機械は、原則として販売してはいけません。これは同様に、1996 年 1 月 1 日以降、電磁整合性 (EMV) に関する基準にも適用されています。「CE」は、例えば「GS」とは異なり、独自の意味を持つ略記号ではありません (GS とは「安全審査済み」という意味)。「CE」とは、表記された製品は、欧州法に基づく関連法規を遵守している、ということです。

現在、業務用食器洗浄機の全てのメーカーは、この機械基準と電磁整合性に関する基準を遵守しなければいけません。

メーカーは、いわゆる「一致評価方式」によって、自社の製品が従っている基準の技術的要求にその製品が合致している証明を行います。しかし、これは必ずしも中立機関が製品を審査しなければならないというものではありません。多数の製品の場合、「メーカーの型式証明」で十分です (例えば通常の機械の場合)。

これはウィンターハルター社の洗浄機も同様です。CE マークによる信用を形成するために、当社の洗浄機は DIN/ISO 335-2-58 EN SEV に準じてテストが行われます。

これは安全テストであり、EC の協定による全ての加盟国によって承認されなければなりません。ウィンターハルター社の型式証明は、洗浄機に添付されています。

GS マーク

CE マークが欧州全土に導入されて以来、ドイツの「GS (装置の安全性) テスト」の重要性が減少しました。これは技術検査協会または傷害保険組合が実施する機器安全法に準じたテストのことです。

DVGW マーク

「DVGW のテストマーク」は、ドイツ・ガス・水道組合連盟のテストのことです。機械が給水設備に接続されている場合、機械が水道網に悪影響を及ぼさないことを保証しなければなりません。

DVGW のテストバッジはそのことを証明するものです。これはドイツでも有効ですが、ベルギー、スイス、オランダでも承認されています。

SEV マーク

スイスの「SEV テスト」は、ドイツの VDE テストに相当します。現在、欧州全土に、機械の電気テストをそれぞれの国が相互に承認しようという取決めがあります。従って、当社の洗浄機が持っているスイスのテストは、ドイツでも承認されます。

VGG マーク

その他、もう一つのテストマークを VGG が与えています。この場合、どのメーカーも自社の洗浄機の洗浄結果を独立の検査機関に調査させることができます。その洗浄機が特定の条件の下でどれだけ汚れを除去できるかをテストします。

取扱説明書

ウィンターハルター 器具洗浄機 GS 640/GS650/GS660

目次

	ページ
1 使用上の注意事項	1
2 設置及び試運転	1
3 安全に関する指示	1
4 操作パネル	2
5 本機の機能	3
6 洗浄プログラム	3
7 洗浄の準備	4
8 洗浄	6
9 標準プログラムから特別プログラムへの変更	7
10 プログラムの設定変更	9
11 洗浄終了の操作と清掃	10
12 故障かなと思ったら	12

この取扱説明書は器具浄機近くの手が届く場所に保管して下さい。



取扱警告表示マーク



取扱注意表示マーク



高圧洗浄機または蒸気洗浄機の使用による機器の洗浄禁止マーク



特記事項表示マーク

1. 使用上の注意事項

ウィンターHALTER社製 器具洗浄機 GS 640/GS650/GS660 の使用目的は、外食産業や肉屋・パン屋さんなど、それに関連する事業においての器具専用の洗浄に限定されます。ウィンターHALTER社の文書による許可なく、本洗浄機に対する設計や使用目的を変更することは保証の対象外となり、又製品の信頼性を損なうことになります。本取扱説明書に記載されている指示を守らなかったことが原因で洗浄機が故障した場合は、ウィンターHALTER、もしくは、その関連企業すべてに対して保証に基づくクレームを申し立てることはできません。

2. 設置及び試運転

洗浄機の設置や設置先における給排水及び電気の接続は、国または自治体の規定を遵守し、必ず資格を持つ技術者が行って下さい。

設置先において給排水や電気の接続が適切に完了した後に、ウィンターHALTER・サービスセンター又はその地区を担当する代理店および取扱店へご連絡下さい。

洗浄機の試運転や操作説明を行ないます。試運転や操作説明は "ウィンターHALTER洗浄機 GS 502/GS515/GS 640/GS650/GS660 試運転マニュアル" に従って行われます。

3. 安全に関する指示



- ・ 洗浄機を使用する前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
- ・ 本説明書に記載されている以外の方法で本機を操作しないで下さい。
- ・ 危険または故障に関する表示が出たら、本機のスイッチをすぐに切して下さい。次に設置先のメイン電源スイッチを切して下さい。それで本機の安全が確保されます。
- ・ 工具を使用しなければ開けられないようなパネルや部品を開けないで下さい。
- ・ 電気関係の作業は専門の担当者が行って下さい。まず最初にメイン電源を切ってから作業を進めて下さい。



- ・ 洗浄機内の水は飲めません。
- ・ 故障表示が出た場合は、ウィンターHALTER・メンテナンスサービスに連絡して下さい。
- ・ 故障の原因が分からない時は、原因がはっきりするまで決して電源を入れないで下さい。必要に応じてウィンターHALTER・メンテナンスサービスへお問い合わせ下さい。
- ・ 業務用の洗浄機に適した洗剤やリンス剤を必ず使用して下さい。ウィンターHALTERが開発した製品を使用することを推奨します。これらの製品はウィンターHALTERの洗浄機用に特別に開発されたものです。パッケージに書かれている取扱上の指示を守って下さい。

- ・ 日常の清掃時に、洗浄機内に錆付いた異物が残っていないことを確認して下さい。このような異物が残ると内部に錆を発生させる原因になります。こうした錆びた小片の混入は、非ステンレス製品の洗浄や、清掃用具、傷んだワイヤートレイやバスケット、または防錆対策を施していない洗浄物が原因となっている可能性があります。
- ・ 洗浄機の内部を乾燥させるために、洗浄終了後 ドアを開けた状態にしておいて下さい。ステンレス腐蝕防止及び異臭を防ぐ上で重要となります。
- ・ 本機を凍結させないように注意して下さい。水系統が凍結で損傷を受ける可能性があります。
- ・ 一般家庭用洗剤（中性洗剤）を使用しないで下さい。使用した場合は洗浄機内に泡が大量に発生し、故障の原因となる場合があります。



- ・ 本機は防水構造となっていますが、高圧洗浄機や蒸気洗浄機を使用して本機の外面へ直接 水や蒸気をあてないで下さい。

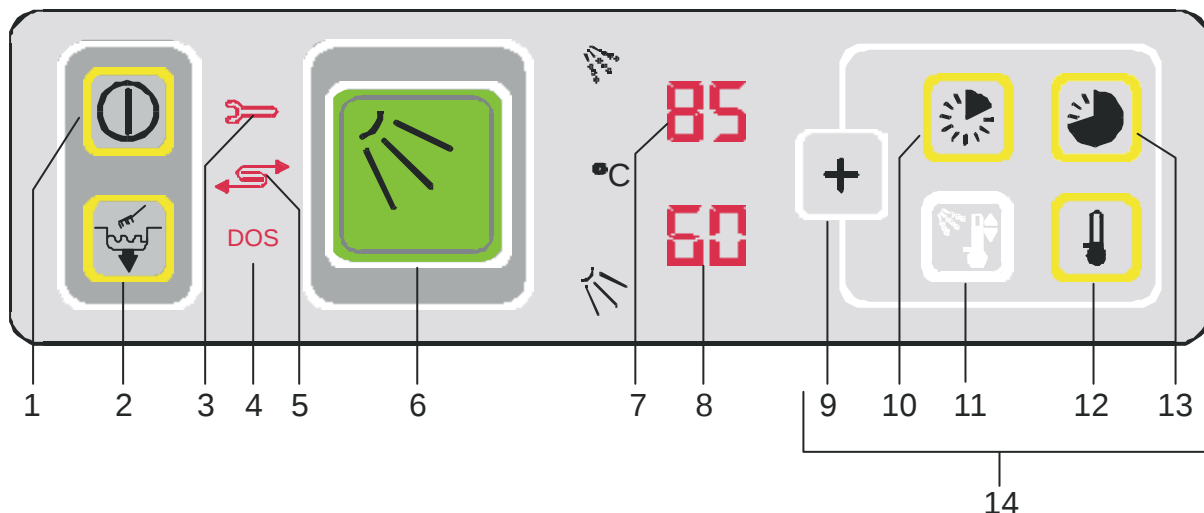


- ・ 一次側元電源（漏電ブレーカー）のテストボタンを定期的に押してチェックして下さい。

日常の清掃のほかに、少なくとも 1 年に 2 回はウィンターハルター・メンテナンスサービスエンジニアによる点検を受けることを推奨します。

4. 操作パネル

操作パネルは正面下部パネル部にあります。



- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 電源ボタン | 8 温度表示（洗浄用） |
| 2 タンク排水 / 自動清掃ボタン | 9 特別プログラム（10-13）起動ボタン |
| 3 故障ランプ | 10 ショートプログラム |
| 4 洗剤 / リンス剤表示ランプ（オプション） | 11 - |
| 5 純水装置制御ランプ（オプション） | 12 冷水予備洗浄（オプション） |
| 6 プログラムボタン（標準プログラム） | 13 ロングプログラム |
| 7 温度表示（すすぎ用） | 14 特別プログラムボタン各種 |

5. 本機の機能

電源が入ると、ボイラータンクで加熱された水が断続して洗浄タンクへ給湯されます。給湯・加熱中はプログラムボタン（6）が「赤」色に点灯します。ボイラータンク・洗浄タンクが設定温度に達すると準備が完了し、運転可能な状態となります。この時プログラムボタン（6）は「緑」色に変わります。

● 洗剤・リンス剤の供給

洗剤、リンス剤の容器コンテナは別置きになります。

本機に内蔵または外部設置の洗剤・リンス剤供給装置が装備されている場合は、手動による投与は必要ありません。供給装置により自動的に投与されます。

内蔵の供給装置の場合は、供給は本機側の制御で自動的に行われます。

外部設置の供給装置に関しては、付属の操作マニュアルに従って下さい。



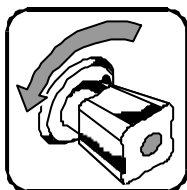
洗剤・リンス剤のパッケージに記載されている安全上の注意に従って下さい。

6. 洗浄プログラム

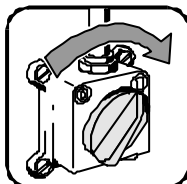
この器具洗浄機はさまざまな洗浄プログラムで運転できます。それぞれのプログラムは操作パネルで選択します。

プログラム	内容
標準プログラム (6)	普通の汚れ プログラム時間: 約 150 秒
ショートプログラム (10)	軽い汚れ プログラム時間: 約 90 秒
ロングプログラム (13)	ひどい汚れ プログラム時間: 約 300 秒
冷水予備洗浄付 標準プログラム (オプション) (12)	蛋白質のついた洗浄物を冷水で予備洗浄し、蛋白質の凝固を防ぎます。
タンク排水 / 自動清掃 (2)	洗浄機内を自動清掃し、その後ポンプで排水します。以上の過程が終了すると自動的に電源が切れます。

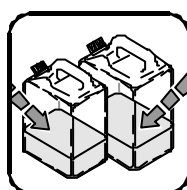
7. 洗淨の準備



一次側給水元バルブを開きます。



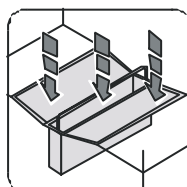
一次側元電源（ブレーカー）のスイッチを入れます。



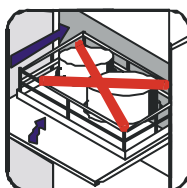
洗剤・リンス剤 容器内の残量を確認し、必要であれば補充して下さい。



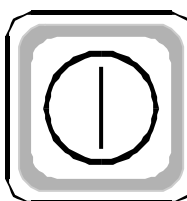
洗剤・リンス剤のパッケージに記載されている安全に関する指示事項に従って下さい。



左右2枚の平面フィルター及びゴミ受けカートリッジがタンク内にセットされているか確認します。



ドアを閉めて下さい。（給水・加熱が完了し洗淨準備が終了するまで、洗淨物を機内に入れないで下さい。）

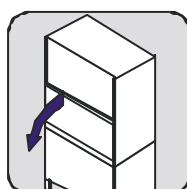


電源ボタン（1）を押して下さい。給水・加熱が開始されます。

プログラムボタン  が「赤」色に点灯：ボイラータンクと洗淨タンクが給水・加熱中。

プログラムボタン  が「緑」色に点灯：給水と加熱が完了。いつでも洗淨可能となります。

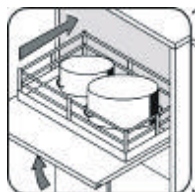
 給水・加熱中は必ずドアを閉めて下さい。



ドアを開きます。

8. 洗浄

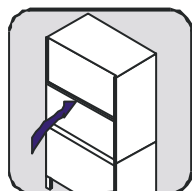
器具類を洗浄機に入れる前に、器具類についている大きな汚れを取り除いてください。ソースなどの汚れも軽くとり、乾燥してこびりついているものは、水につけ置きして、柔らかくして下さい。



ボウル、ポット、鍋、ミート皿などは下向きにしてラックに乗せて下さい。器具類を重ねて置くと、洗浄されない部分ができることがありますので、注意して下さい。

ベーキングトレイは、汚れた部分が下向きになることを確認して、前に傾けてラックに乗せます。

ナイフ、フォーク、スプーン その他の細かいものは、プラスチックの専用付属ラック等に入れてから、ラックに入れます。

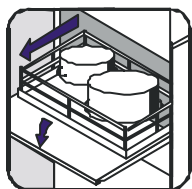


ラックを洗浄機に入れて、ドアを閉めます。



「緑」色のプログラムボタン (6)を押して洗浄プログラムをスタートさせます。プログラムボタン (6) が「青」色 (洗浄中) に点灯します。

洗浄プログラムが終了するとプログラムボタン (6)は元の「緑」色に戻ります。



ドアを開け、ラックを取り出します。



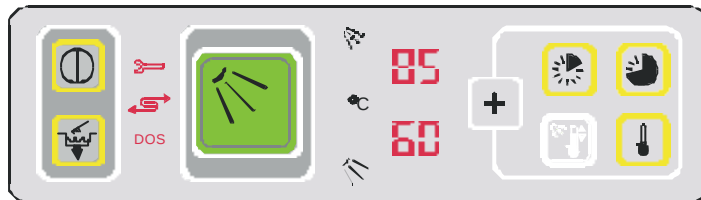
- 洗浄休止中は、タンク内の温度を保つために、ドアを閉めておいて下さい。
- 定期的にゴミ受けカートリッジの目詰まりをチェックし、ゴミ等が詰まっている時は、取り出して清掃して下さい。タンクの排水を行わなくても、ゴミ受けカートリッジを取り外して清掃することができます。
- 定期的に洗浄水の汚れをチェックし、汚れがひどい場合は一度排水して、再度給水を行なって下さい。

9. 特別プログラムへの設定変更



標準プログラムから特別プログラム〔ショートプログラム、ロングプログラム、又は冷水予備洗浄付 標準プログラム (オプション)〕へ変更する際に、まず各特別プログラムのボタンを使用可能にする必要があります。

まず、特別プログラム 起動ボタン(9)  を押します。



各特別プログラムのボタンが使用可能になります。(ボタン 10,12,13 が点灯)



ドアを閉めます。

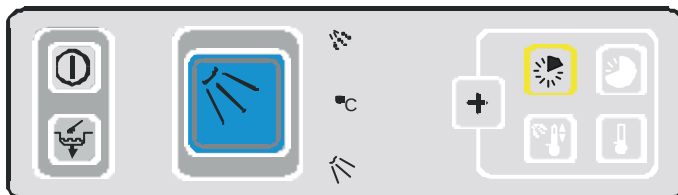
● ショートプログラムまたはロングプログラムへの変更

洗浄物の汚れによって、2つの特別プログラムから、どちらかを選択し洗浄できます。

ショートプログラム:  と  を押します。

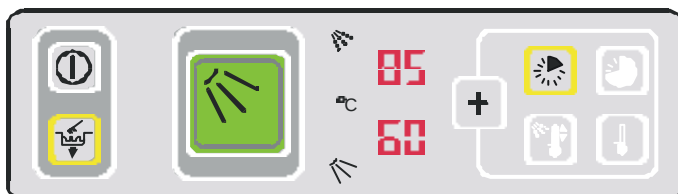
ロングプログラム:  と  を押します。

ご希望のプログラムがスタートします。



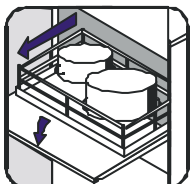
例: ショートプログラムで洗浄中の操作パネル表示

ボタン  が「青」色に点灯。



例: プログラム終了時の操作パネル表示

ボタン  が「緑」色に点灯。



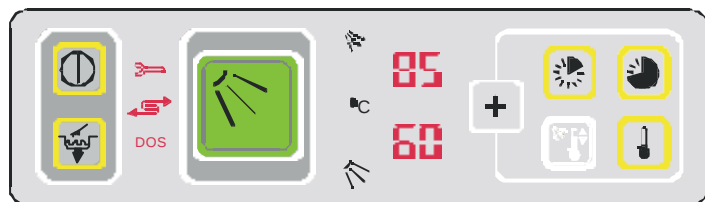
ドアを開け、ラックを取り出します。
洗浄物を取り出し、ドアを閉めます。
又は、次の洗浄物をラックに入れ、引き続き洗浄をします。

● 冷水予備洗浄 付 標準プログラム（オプション）



このプログラムは、高温の洗浄水で洗浄物を洗浄する前に冷水で予備洗浄を行い、洗浄物から蛋白質を含んだ汚れ（肉や血の残り）を落として、蛋白質成分が高温の洗浄水によって凝固するのを防ぎます。

プログラム選択方法：特別プログラムボタンが使用可能な状態で（ボタン10、12、13が点灯）、洗浄物をラックに入れ、洗浄機内にセットして、ドアを閉じて下さい。



ボタン
ます。



（12）と



を押します。

まず、洗浄物を冷水で予備洗浄し、洗浄物から蛋白質を含んだ汚れ（肉や血の残り）等を落とします。その後、引き続き通常の標準プログラムがスタートし、洗浄を行います。

その後は、他の洗浄プログラム（ショートプログラム又はロングプログラム）が選択されるまで、又は特別プログラム 起動ボタン(9)  が押されるまで、この選択されている冷水予備洗浄付標準プログラムが継続されます。

10. プログラム間の設定変更

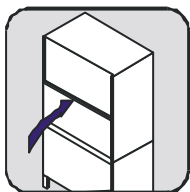


各プログラム間の設定変更は、ドアの開閉に関わらず行えます。

● 特別プログラム間の変更



ご希望のプログラムを選択します。(ボタンを押す)
それにより、前回選択していたプログラムがキャンセルされます。

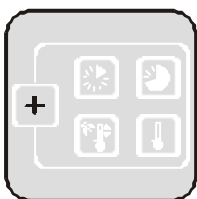


ドアを閉めます。



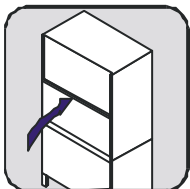
プログラムボタンを押します。ご希望のプログラムがスタートします。

● 特別プログラムから標準プログラムへの変更

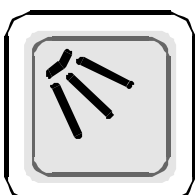


特別プログラム 起動ボタン(9)  を押します。

特別プログラムのボタン領域が消灯します。



ドアを閉めます。

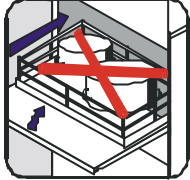


プログラムボタンを押します。
標準プログラムがスタートします。

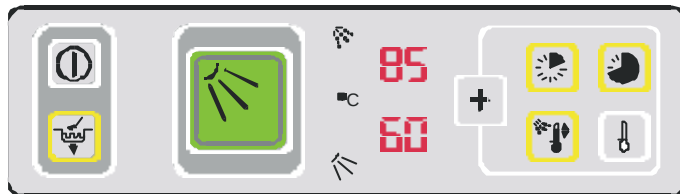
11. 洗浄終了の操作と清掃

● タンクの排水 / 自動清掃

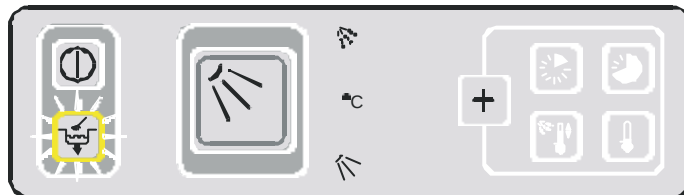
この自動清掃プログラムは、洗浄機内部の清掃を行い、その後 汚れた洗浄水をポンプで排水します。そしてプログラムが終了すると自動的に洗浄機の電源が切れます。



洗浄物を取り出し、ラックのみを洗浄機に入れ、ドアを閉めます。

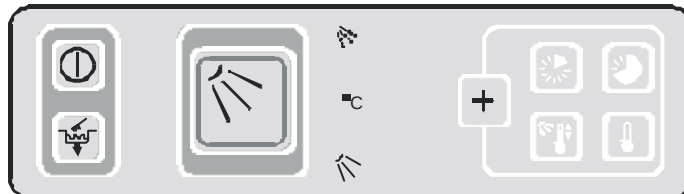


タンク排水/自動清掃ボタン (2)  を 2 秒間押し続けます。

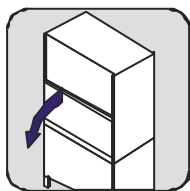


タンク排水/自動清掃ボタン (2)  が点滅します。

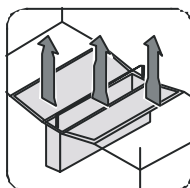
自動清掃プログラム実行中



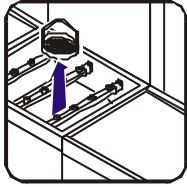
プログラム終了時の操作パネルの表示です。



ドアを開けます。



ゴミ受けカートリッジ、左右 2 枚の平面フィルターを取り外して清掃します。



排水ストレーナーを取り外して清掃します。



清掃が終了したら、取り外したそれぞれのフィルター及びストレーナーを元通りにセットして下さい。

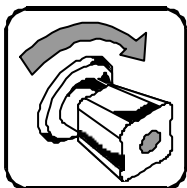


- 洗浄機内部を乾燥させるため、ドアを開けた状態にしておいて下さい。
- 洗浄機の外装は、ステンレス用のクリーナーで清掃します。
- 定期的に洗浄管を取外してノズルが詰まっていないか確認し、必要であれば清掃して下さい。

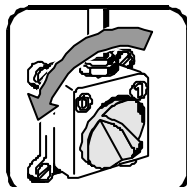
• 電源を切る



自動清掃プログラムが終了すると、自動的に電源が切れるシステムになっています。



一次側給水元バルブを閉めます。



一次側元電源（ブレーカー）のスイッチを切ります。

これで本機の安全が保障されます。

● スケールの除去

機械から水を抜いて下さい。

洗剤の供給を停止します。（洗剤容器から吸引チューブを抜き取ります。）

機械に再び給水します。

スケール除去剤メーカーの取扱説明書に従ってスケール除去剤を添加します。



スケール除去剤に記載されている安全に関する指示に従って下さい。

ロングプログラムを 1 - 2 回（最大 10 分サイクル）実行します。これによってスケール皮膜を軟化させ、除去します。

最後に排水して下さい。



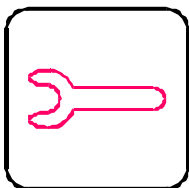
決して、スケール除去剤溶液を洗浄機内に入れたまま、長時間放置しないで下さい。

再び洗剤を供給できるようにセットします。

再度給水します。

最低 2 回以上ロングプログラムモードで運転して下さい。

12. 故障かなと思ったら



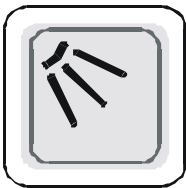
この故障ランプが点灯したら、洗浄機の電源スイッチを切して下さい。
（オン / オフスイッチを押します）



続いて、エラーマークが表示され、エラーコードが表示されます。
エラーコードの内容については以下の表を参照して下さい。

表示	故障	原因 / 結果	対策
	電源が入らない	元電源スイッチが入っていない	元電源スイッチを入れる
	洗浄プログラムがスタートしない	ドアが完全に閉まっていない	完全にドアを閉める
	汚れが落ちない	洗剤の供給量が少ないか、洗剤容器が空になっている ゴミ受けカートリッジや平面フィルターが目詰まりしている 洗浄管内の洗浄ノズルが目詰まりしている 純水器の機能障害	洗剤を容器に補充して満タンにする ゴミ受けカートリッジや平面フィルターを清掃する 洗浄ノズルを清掃する ウィンターハルター・メンテナンスサービスに連絡して下さい。
	エラーコード 1、11、12	洗浄機の電源が完全にオフ状態 洗浄機の電源が入らない	ウィンターハルター・メンテナンスサービスに連絡して下さい。
	エラーコード 5、13、15	給水元のパルプが閉まっている 洗浄機の運転準備が不完全	給水元のパルプを開く ウィンターハルター・メンテナンスサービスに連絡して下さい。
	エラーコード 2、3、4、6、7、8、9、10	洗浄機の運転準備が不完全	ウィンターハルター・メンテナンスサービスに連絡して下さい。

● プログラムボタン（６）によるエラー表示



温度が所定温度以外の場合に、このプログラムボタンが赤く点灯、又は点滅します。

- 点灯（正常）：ボイラータンクまたは洗浄タンクの温度が所定温度より低い（最初の運転準備の加熱時のみ）
所定温度に達すると、ボタンは緑色になります。



- 点滅（異常）：ボイラータンクまたは洗浄タンクの温度が95℃以上

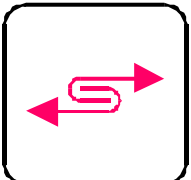
高温注意：洗浄機の電源をすぐに切ってください。

故障ランプ（３）が表示され、エラーコード２又は３が表示されます。

すぐにウィンターハルター・メンテナンスサービスに連絡して下さい。

洗浄機には触れないようにして下さい。

● その他の特別エラー表示

オプション 	洗剤またはリンス剤切れ	洗浄機の運転準備が不完全	洗剤やリンス剤を補充して下さい。
オプション 	純水装置のエラー	洗浄機の運転準備が不完全	ウィンターハルター・メンテナンスサービスに連絡して下さい。

株式会社ウィンターハルター・ジャパン

本社

〒179-0084 東京都練馬区氷川台3-7-6

Tel: 03-6906-6061(代) Fax: 03-6906-6880

サービスセンター

Tel: 03-6906-6071 Fax: 03-6906-6880

大阪サービスセンター

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-6-12 新大阪駅前末広ビル 1F

Tel: 06-6886-5537 Fax: 06-6886-6658

福岡サービスセンター

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-3-16 川清ビル 1F

Tel: 092-477-7033 Fax: 092-477-7032

GS 640 / GS 650 / GS 660 Energy シリーズ（ヒートリカバリー付）

Energy シリーズをご使用の際には以下の点にご注意下さい。

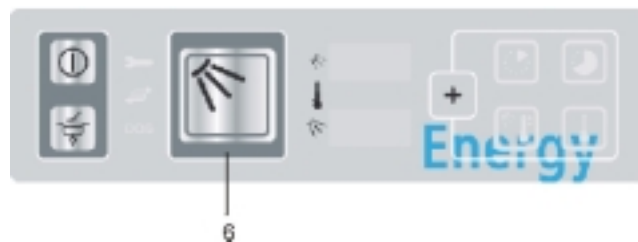
排気ヒートリカバリーの機能:

本体上部にはファンモーターと排気ヒートリカバリーが装備されています。すすぎ工程が開始されると、ファンモーターが動き庫内の湿った暖かい蒸気を吸い込み、ヒートリカバリーによって給水がボイラータンクに入る前にあらかじめ加熱されます。それにより給水を所定のすすぎ温度《85℃》に加熱するためのエネルギー消費量が節約できます。また、ドアを開けた時の蒸気排出量はわずかなため、キッチンの環境も改善されます。

給水接続:

排気ヒートリカバリーが効果的に機能するために、洗浄機の給水温度は最大 20℃ までにしてください。また、ヒートリカバリーにカルキがつかないように、水の硬度は 20° dH 以下にしてください。

操作パネル:



洗浄プログラム:

すすぎ工程が開始されると、洗浄機上部のファンのスイッチが入り、洗浄プログラム終了後も 120 秒間動き続けます。この間、プログラムボタン（6）は青と緑に交互に点滅します。湿った暖かい蒸気が完全に庫内から回収されることができるよう、可能な限りドアを閉じておいてください。プログラムボタン（6）が緑に点滅したら、ドアを開けてください。

管理とお手入れ:

洗浄機上部前方の排気ガラリは、簡単に取り外すことができます。月に 1 回洗浄し、その後再び取り付けてください。

吸気口の清掃:



吸気口

- 吸気口を週に 1 回、セルフクリーニングプログラムが始まる前に清掃してください。
- 泡のたたない油汚れ落とし洗剤を吸気口に噴霧し、しばらく放置します。
- ホースなどを使って、吸気口の洗剤と汚れを熱いお湯ですすぎます。
- 洗浄機のセルフクリーニングプログラムをスタートしてください。

* 洗剤ご使用の際は、洗剤パッケージに書かれている使用上の注意にご注意ください。